

令和6年度 第5回協働のまちづくり推進委員会 会議録

日時	令和7年3月21日（金）13：30～14：40
場所	本庁舎3階 第3会議室
出席委員	小川副会長、岡野委員、石井委員、宇井委員、武重委員、瀬良委員、牧野委員、朝倉委員
欠席委員	清水会長、新委員、秋葉委員、荒居委員
事務局	市民活動推進課 小川課長、吉田、渡辺、森久保 まちづくりコーディネーター 吉見
傍聴者	0名

[会議次第]

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

(1) 第2次富里市協働のまちづくり推進計画(改訂版)の取組についての総括意見(案)について

(2) その他

4 そ の 他

(1) 実施事業及びとみさと市民活動サポートセンターについて

(2) その他

5 閉 会

[会議概要]

<p>副会長</p>	<p>次第3 議題 一 会長が所要により欠席のため、「協働のまちづくり推進委員会の運営に関する要綱」第2条第3項の規定により、副会長が議事の進行を務める一</p> <p>(1) 第二次富里市協働のまちづくり推進計画（改訂版）の取り組みについての総括意見(案)について 事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>総括意見（案）については、委員の皆様からご提出いただいたご意見を取りまとめて、作成しております。本日の委員会でご意見等いただき、後日、会長と最終的な確認をし、推進委員会の総括意見として市に提出したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。事務局からの説明は以上です。</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございます。事前に目を通してきていただいていると思いますが、質問や追加で掲載したい部分がありましたら、お願いします。</p>
<p>A委員</p>	<p>全体的話になりますが、交流の場がなかなか作りづらいです。私たちの地域は高齢化率が高いのですが、若い世代の方にどのように地域の活動に入っていただくか考えていますが、若い世代は仕事や子育てなどで忙しかったりします。自治会としては、公園の草刈りなどのタイミングで声をかけていますが、若い世代との交流が難しいと感じています。</p>
<p>B委員</p>	<p>総括意見にも書かせていただきましたが、市民活動補助金やボランティア手帳など既存の制度について、委員の皆さんから柔軟な視点で意見が出ました。市民の皆さんにとって、より使いやすいものになり、協働のまちづくりを推進していく上で、大変意義がある会議になったと感じております。</p>
<p>C委員</p>	<p>地域課題を整理する円卓会議について、「さぼカフェ」のような異分野・異世代・法人・NPO・企業が一同に会して、一つのテーマで円卓会議を開いていくことが、とても大事です。「さぼカフェ」で出された意見も参考にして、推進委員会で共有できればよいかなと思います。次の展開としては、異分野・異世代・「異業種」を加えた円卓会議を企画してみたいかでしょうか。</p>
<p>D委員</p>	<p>委員の皆さんからも意見が出ていますが、さまざまな世代の方と交流</p>

E 委員	<p>して、その意見をみんなで共有するという場が欲しいと思いました。一つの議題についても深く掘り下げていくということも、もう少し時間があればできるかなと感じました。</p> <p>総括意見（案）を読ませていただき、貴重な意見が出ていると思いました。先ほど、少し自治会のお話が出ましたが、自治会を辞められる方が増えており、私どもの自治会も先日解散になってしまいました。理由としては、回覧やゴミゼロに出ること以外の何のメリットもなく、活動も忙しくて何もできないとのことでした。さまざまな分野の方との交流なので、引き続き、休日にも開催するようお願いいたします。これからも富里市の発展を願っております。</p>
F 委員	<p>2年間委員をやらせていただき、まちづくりやボランティアとは何だろうと原点に戻って考えてはみっていますが、回答がなかなか出ませんが、その中でもまちづくりを進めていかなければいけません。既にやっているかもしれませんが、ほかの市町村と繋がりを持って取り組んでいただけたらと思います。</p>
G 委員	<p>市民活動推進課というのは、プランナーだと思います。実際に市民活動をしている現場の方ともっともっと意思疎通を図り、課題を把握して今後の方向性を各団体と共有してほしいと思います。講座についても、参加募集のチラシを渡しただけでは、参加者が集まらない。参加団体の皆さんにもぜひ来てほしいと伝えていただきたいし、参加者が少なければ、講師の先生にも申し訳ないと思います。</p> <p>もう一つは、市民活動サポートセンターとボランティアセンターでは、同じような事業をしていることが多いので、今後も情報共有を継続して、一緒に事業を進めていただければと思います。</p>
C 委員	<p>Gさんは、中心になって市民活動を長くやってこられたので、協働の本質である人と人の繋がり、話し合い、対話の場を提供する際に、情報を発信するだけでは来ないということは、すごくよくわかっていらっしゃるのだと思います。サポートセンターのコーディネーターさんたちは、顔を見て声かけをしたり、電話をかけたりにしていると思います。現場に出向いていくアウトリーチについては、市の職員が出向いていくことは、なかなか難しいとは思いますが、現場を肌で感じて、問いかけをしたり、声を拾ったりすることはとても大事なことです。円卓会議のテーマは、市で決めるしかありませんが、来る人は、テーマとかけ離れてもよいと思います。「外国人との共生」というテーマだとしたら、農家の人や自治会の人など、いろいろな人たちが困りごとや解決策を話し合い、その場</p>

<p>副会長</p>	<p>で話し合った人同士が今度はまちで会うとか、人と人とが繋がり合って、まとまりになり、そういうことを積み重ねていくことが地域づくりにつながります。協働とかまちづくりは、本当に時間や手間がかかるものだと思います。</p> <p>私は、10年以上協働のまちづくり推進委員をやっていますが、この委員会に入って、100人以上の知人ができました。この繋がりや、委員を辞めても広げる努力をしないと止まってしまうと思います。コロナ前は、委員会で忘年会もやったこともあります。会議の場で発言することではない内容や言い足りなかった意見も聞ける機会を作れたと思っています。</p> <p>人数が少ない団体については、いろいろ苦勞されていると思いますが、積極的に声掛けしないと新しい人は来ないと思います。リーダーが魅力的な方だと、手助けしていただける方もいるのではないのでしょうか。</p>
<p>G委員</p>	<p>人数が少なくて、自治会がなくなっているところもあるわけなので、リーダーが大切だと思いました。1回お酒を飲んで話をしても本音が出てくるので面白いかもしれません。</p>
<p>E委員</p>	<p>先ほども少し話しましたが、自治会の回覧板については、インターネットでも見られるから、自治会に加入するメリットがないということでした。便利さと引換に人と人との繋がりが失われるような気がして残念に思います。マイナンバーカードで全部できるようになって便利にはなりますが、やはり生の声でやり取りする人と人との繋がりも大切にしていきたいです。昭和時代はよかったと時々言われていますが、改善すべき部分は改善し、残すべき部分は残して欲しいと思います。</p>
<p>G委員</p>	<p>世代間の差があるという感じはしています。時代も変化しているし、昔ほど簡単にはいきません。外国人が増えてきていますので、自治会も含めてまちづくりを企画していく必要があると思います。</p>
<p>A委員</p>	<p>日吉台地区では外国人をよく見ますが、日吉台には、技能実習で日本に来た方を1か月間日本語教育する施設があり、実習生に夏祭りや音楽祭に出してもらっています。施設で日本の生活習慣や基本的な日本語を学び、沖縄から北海道まで全国に就職します。</p> <p>実習施設のほかにも日吉台には日本語学校があり、留学生も住んでいます。留学生は、2年くらい日本語を勉強します。留学生には、ひよしグリーンロード再生会の活動に協力してもらい、日吉台の大通りの草とりなどをお願いしています。資金については、コメリやセブンイレブン</p>

C委員	<p>といった民間の助成金を使って捻出しています。外国人が経営しているお店には、お祭りの協賛金をいただいたりしています。</p> <p>日吉台地域では、防災訓練や防犯パトロール、草とりなど、外国人市民を地域の一員として参加してもらうようなプログラムを提供しています。すごいと思いました。</p> <p>若い世代がどうしても自治会に参加してもらうかについては、やはり若い世代に向けたプログラムなどを考えることが、今の私達の責任だと思います。今までのやり方を踏襲しているだけでは、どんどん衰退していきますし、自治会については、どこでも似たような課題を抱えています。千葉市は、自治会をやっている人たちの研修会とか事例報告会などをやっていますが、回覧板は、LINEでみんな見られるようにしたり、会費を1軒ずつ回って集めていたものをPayPayなどで払えるようにしたり、いろいろな工夫をしながら四苦八苦やっています。変える部分は変えていかなければいけないし、今は過渡期なので、紙とデジタルを同時にやらなければいけないです。苦勞の時代だと思いますが、「オンラインやSNSは使いません」と言ったら、若い世代の参加がますます減ってしまいます。今までの自治会も時代に沿った良さは取り入れて運営してきたはずです。やる人だけやればいいのかではなく、その場に入ってもらえるようなプログラムを作ることが、私達の責任です。</p> <p>もう一つは、推進委員会は出会いの場の一つではありますが、宴会などをして、協働のまちづくり推進委員会が活発だと何か地域が変わったり、良くなったりするわけではないので、地域の皆さんの活動が活発であればよいのではないかと思います。</p>
副会長	<p>会議の場だけでは人間関係の深まりができないので、会議以外の部分でも広がりが出ればよいと思い発言しました。</p> <p>そのほか、委員の皆さまからご意見がなければ、総括意見について、最終的な調整は会長と事務局に一任したいと思います。よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>ーよいー</p> <p>(2) その他</p>
副会長	<p>消費者行政推進連絡協議会について副会長から資料の説明。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>(1) 実施事業及びとみさと市民活動サポートセンターについて</p> <p>・若者プロジェクト</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・とみさと協働塾（クラウドファンディング講座） ・とみさぼニュースレター ・市民活動支援補助金事前説明会 <p>そのほか、何かご意見やご提案はございますか。</p> <p>C委員 Save Japan プロジェクトの助成金を活用している「おしどりの里」のイベントについて説明。</p> <p>そのほか、何かご意見やご提案はございますか。</p> <p>各委員 ーなしー</p> <p>事務局 委員の皆様におかれましては、2年間にわたって貴重なご意見や協働のまちづくりの推進のため、ご尽力いただき本当にありがとうございました。以上をもちまして令和6年度第5回富里市協働のまちづくり推進委員会を閉会します。</p> <p style="text-align: center;">(閉会)</p>
--	---